

## 埼玉県における腸炎ビブリオ食中毒発生状況（2003～2007年）

過去5年間の腸炎ビブリオ食中毒発生状況を下表に示しました。2003年は6件、2004年は7件、2005年は5件、2006年と2007年は1件ずつ発生しました。

腸炎ビブリオは、沿岸域や河口の海水中に広く生息し、海水温が20℃以上になると海水や魚介類などから検出されます。特にわが国では、魚介類の生食を好むため、海水温の高い6月から9月にかけて、腸炎ビブリオによる食中毒の発生が例年みられます。喫食してから発症までの潜伏時間は通常10～24時間程度ですが、喫食から短時間で発症する場合は、食品中で大量に産生された毒素を摂取した可能性も考えられます。主な症状は水様性や粘液性の下痢（数回～十数回）や腹痛ですが、発熱の他、吐き気や嘔吐がみられることもあります。

本菌は他の食中毒細菌に比べて増殖が非常に早く、二次汚染により魚介類以外が原因食品となった事例もあります。腸炎ビブリオ食中毒は、夏季に多発する傾向にあるため、これからの時期は、食品の衛生管理に特に注意が必要です。

表 過去5年間の県内腸炎ビブリオ食中毒発生状況

発生年月日	原因（推定）食品	摂食者数	患者数	原因施設
2003年 8月16日	不明	1人	1人	不明
8月19日	不明	1人	1人	不明
8月23日	披露宴の食事	92人	27人	飲食店
8月28日	8/28夕食(宴会料理)	41人	22人	飲食店
8月30日	不明	5人	4人	不明
9月 6日	不明	18人	4人	不明
2004年 7月18日	7/18の会席料理	40人	19人	飲食店
7月26日	7/26及び7/27の料理	50人	40人	飲食店
8月 1日	8/1法事料理	130人	61人	飲食店
8月 9日	不明	3人	2人	不明
8月14日	不明	1人	1人	不明
8月16日	不明	1人	1人	不明
8月21日	不明	3人	2人	不明
2005年 7月22日	7/21夕食、7/22夕食	27人	15人	飲食店
7月23日	7/22夕食	12人	7人	飲食店
8月23日	8/22昼食	30人	24人	飲食店
8月23日	不明	2人	2人	不明
8月28日	8/28会食	170人	65人	飲食店
2006年 7月21日	不明	82人	20人	不明
2007年 8月11日	8/11会食	33人	13人	飲食店